

いきいき福祉 すまいる 2022 vol.72

熊本市社協だより

編集・企画

ふれあいネットワーク



社会福祉法人
熊本市社会福祉協議会

〒860-0004 熊本市中央区新町2丁目4-27
熊本市健康センター新町分室3階
TEL. 096-322-2331 FAX. 096-359-1800
発行日: 令和4年5月1日発行

障がい者成人式



令和4年障がい者成人式を1月10日（成人の日）にメルパルク熊本で37名の新成人を迎えて開催しました。新成人を代表し、山田大哉さんが家族へのありがとうの感謝と、社会人として今後、夢や目標に向かって何事にも挑戦しますとの誓いのあいさつを行いました。

小山登代子社協会長より、若い力を存分に発揮し努力を重ね困難なことも乗り越えてくださいと祝辞を述べました。

会場では、晴れ着姿で友人や家族との写真撮影や、協賛団体からの記念品贈呈などで新成人へエールを送りました。

危機を前に、人は弱い。
でも、
危機を前に、人は強い。

赤十字運動月間

5.1 (Sun) ~ 31 (Tue)

救うを託されている。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

『広がる社会的孤立 私たちにできることは?』を開催しました

令和4年3月11日（金）、くまもと県民交流館パレオ10階「パレオホール」にて研修会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の流行によりまん延防止等重点措置適用中の開催ではありませんでしたが、会場参加と後日動画配信（オンデマンド）を合わせた研修会として開催、会場には校区社協長をはじめ関係者110名の参加がありました。

3人のパネリストがそれぞれの立場から「社会的孤立」状態にある方への支援に対する取り組みを報告、熊本市校区社協連絡協議会 鳥崎一郎事務局長がコーディネーターとなり、各報告を受け、地域（住民）にできること、また校区社協にできることについてまとめられました。

まとめでは、「地域住民が『見つける』『つなぐ』『見守る』『支える』を意識することで孤立対策に役立つ場面があり、そこから行政や関係機関だけでなく、地域全体に連携の輪を広げていくことが重要である」と話されました。

新型コロナウイルスの影響もあり全市的に集合しての研修会の開催は久々でしたが、終了後のアンケートでは「久しぶりにこのような研修会が開催されてよかった」「有意義な研修会であった」とのご意見をいただき、あらためて研修の機会の大切さを実感しました。

同アンケートで今後の研修会についていただいたご意見をもとに、今後も熊本市校区社協連絡協議会と連携を図りながら、地域関係者の皆様にとって地域福祉活動の参考となる有益な情報を提供できるよう取り組んでまいります。

【パネルディスカッション】

コーディネーター

熊本市校区社協連絡協議会 事務局長 鳥崎一郎

パネリスト

- ・熊本市社協における孤立防止に対する取り組みについて
熊本市生活自立支援センター センター長 森口真由美
 - ・「ささえりあ」の「見つける・つなぐ・見守る・支える」
「支える」を推進するための「校区社協」の取り組み
ささえりあ子飼 管理者 田口善信 氏
 - ・孤立社会を支えあうことのできる「ひと・地域・仕組みづくり」
NPO 法人でんでん虫の会 代表 吉松裕藏 氏
- ☆インタビュー：でんでん虫の会会員2名



☆この研修会は、動画視聴いただけるよう期間限定で公開しておりますので、ご興味のある方は下記よりアクセスください。



<https://youtu.be/IM-QW-cCvQA>

「民生委員・児童委員の活動実態調査」の実施

民生委員・児童委員（以下「民生委員」）は、地域から推薦され厚生労働大臣の委嘱を受けたボランティアで、全国で約23万人、熊本市では1,300人を超える方が活動されています。民生委員制度は、制度創設100年を超える歴史ある制度ですが、近年、地域共生社会の実現に向け、地域福祉の担い手として民生委員への期待が高まる一方、負担が大きいなどさまざまな課題が指摘されています。

そこで、熊本市では民生委員児童委員協議会、市役所、市社会福祉協議会でプロジェクトチームを結成、各民生委員が抱えている課題を把握するため実態調査を行いました。設問数34問という多くの問いでしたが、令和3年1月1日時点の委嘱委員1,354名中1,331名（回答率：98.3%）からの回答が得られ、日頃各民生委員が感じている率直な意見を聴取することができました。

各設問に対する回答については、集計と同時に、九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科 村本 浄司 准教授、田島 望 専任講師へ総評を依頼しました。それにより、集計結果から抽出した課題とあわせ、課題解決に向けた取り組みへの手掛かりをいただくことができました。

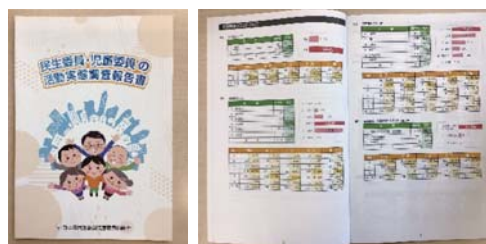
今後、熊本市民生委員児童委員協議会及び熊本市とともに、さらなる調査結果の検証を進めながら、負担感の軽減など活動環境改善に取り組み、活動を通してやりがいと楽しみが得られるよう、本会としても民生委員活動を支援してまいります。

3年を任期とする民生委員ですが、本年12月1日はその一斉改選が行われます。民生委員は、地域の身近な相談相手として、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために様々な活動を行っています。ぜひ活動についてのご理解とご協力をお願いいたします。

【実態調査実施スケジュール】

- R2.10月～ 調査票（素案）の作成
- R2.12月 調査票の完成
- R3.2月 調査票の配付
※新型コロナウイルスの影響により1月配付予定を延期
- R3.5月 調査票の回収
※新型コロナウイルスの影響により回収期限を1か月延長
- R3.6月～ 集計作業
- R3.11月 九州看護福祉大学へ総評依頼
- R3.12月～ 課題整理及び分析
- R4.1月～ 報告書（案）の作成
- R4.3月 報告書の完成

☆この活動調査集計結果は、熊本市社会福祉協議会ホームページよりご覧いただけます。下記よりアクセスください。



<https://www.kumamoto-city-csw.or.jp/src/minseijin-report.pdf>

令和4年度 事業計画・予算

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により地域福祉活動も休止せざるを得ない状況が続いています。

このような状況のなか、令和元年度に熊本市と一体的に策定した「第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「だれもが『おたがいさま』で支え合う協働のまちづくり」を念頭に、新たな生活様式のなかでの地域福祉活動のあり方を模索、検討し、地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めています。

● 部門別の事業重点目標 ●

(1) 地域福祉推進部門

住民の身近な圏域において校区社会福祉協議会は様々な活動を展開しています。この活動をさらに進めるため、「校区社協行動計画」の策定支援に取り組みます。また、策定された計画の進捗状況を把握し、当該校区社協とともに評価、検証しながら、計画の実現に向け継続した支援を行っていきます。

さらには、地域共生社会の担い手として期待が寄せられる校区社協や民生委員・児童委員の活動支援に取り組むため、行政と共に熊本市校区社協連絡協議会及び熊本市民生委員児童委員協議会とさらなる連携強化を図りながら、地域福祉力の底上げを目指します。

(2) 生活支援部門

経済的困窮者に対して、生活困窮者自立相談支援事業を中核に生活福祉資金貸付や住居確保給付金、住宅確保要配慮者支援事業等の生活再建施策を活用した「断らない相談支援」の充実に努めます。

日常生活自立支援事業や法人後見事業等の総合的な権利擁護体制の強化を図るため、熊本市成年後見支援センターの運営を熊本市より受託し、成年後見制度利用促進にかかる段階的・計画的な取り組みを推進します。

(3) 介護保険事業部門

介護保険事業（訪問介護事業・居宅介護支援事業・認定調査事務受託事業）は定期的な事業管理を実施し業務の効率化、収支のバランスの評価検証を実施します。

(4) 養護老人ホーム部門

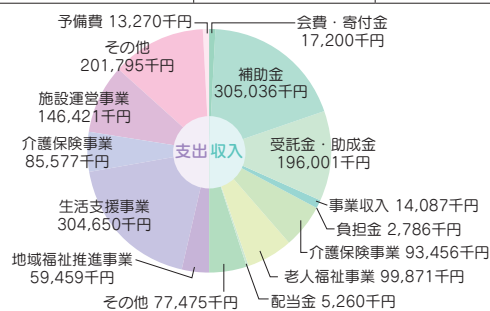
「運営検討委員会」の答申を受けて、今年度より、通所介護事業（デイサービス事業）を新たに展開し、一体的な事業運営を推進することで、安定した収入確保に努めて参ります。

(5) 法人運営部門

安定した法人運営を推進するため、自主財源の確保、自主事業の定期的な評価検証を実施し基盤強化を図ります。人材育成計画に基づき、職員一人一人が法人の基本理念を理解し地域住民に信頼される職員として成長するために職員研修の強化を図り計画的な実施に努めます。

資金収支計算書（概要）

	令和4年度予算	令和3年度予算
事業活動による収支	収入 737,480 支出 662,782 収支差額 74,698	640,199 624,557 15,642
施設整備等による収支	収入 0 支出 12,500 収支差額 -12,500	0 0 0
その他活動による収支	収入 73,692 支出 146,120 収支差額 -72,428	48,029 56,213 -8,184
予備費	13,270	7,458



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術 入院中の手術	65,000円		
	保険金 外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

全国社会福祉協議会会長表彰伝達式を開催

令和4年3月4日（金）、全国社会福祉協議会会長表彰受章者をお招きし、その栄誉を称え表彰伝達式を開催いたしました。この表彰は、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設及び社会福祉協議会等の団体の役職員でその功績が顕著な者に、全国社会福祉協議会会長が表彰するものです。

常山校区民生委員児童委員協議会会長 米満 美恵子様より「つながることをあきらめず、おたがいさまで支え合うまちづくりを進めます」との謝辞を述べられました。

皆様方のますますのご健勝をお祈り申し上げます。
ご受章誠にありがとうございました。



<前列左より>

救護施設 友愛会銀杏寮
常山校区民生委員児童委員協議会
熊本市社会福祉協議会
白川校区民生委員児童委員協議会
特別養護老人ホームあいこう
熊本市社会福祉協議会中央区事務所

村上 美智 様
米満美恵子 様
小山登代子 会長
甲斐 節子 様
安部友美子 様
立花 久幸 所長



善意のご紹介

ご寄付ありがとうございました。

一般寄付（令和3年9月1日～令和4年3月31日）

- （故）古賀輝子 様
- 熊本東急会 様
- 鮑田公民館講座自治会 様
- 真如苑 様
- 植木ボランティア連絡協議会 様
- オートネット 様
- 東京エレクトロニクス九州 様

香典返し寄付（令和3年9月1日～令和4年3月31日）

- 中央区
 - 櫛川 昌司様
- 東 区
 - 宇都宮憲二様 西本 潤子様 武田 昭二様 坂本桂子様 弓削 宏様 松江 玉代様
 - 中野 盛也様 江上 徹央様
- 西 区
 - 野崎 京子様 坂口 政広様 多森 大城様
- 南 区
 - 石井 道夫様 牛丸 栄子様 大石 慶子様 （故）浦田 清人様 （故）平島シズノ様 荒瀬 初子様
- 北 区
 - 桐原 美江様 古澤ケサイ様 中園 正年様 栗原リヨ子様 門岡 昌信様

物品寄付（令和3年9月1日～令和4年3月31日）

- 株式会社大野商事 様
- 海苔で健康推進委員会九州ブロック 様
- 株式会社レイメイ藤井 様
- 株式会社ダイナム 様
- JA グループ熊本 様



社会福祉 熊本市社会福祉協議会

http://www.kumamoto-city-csw.or.jp/
E-mail info@kumamoto-city-csw.or.jp

- 本 所
 - 総務部総務課 TEL:096-322-2331 FAX:096-359-1800
 - 日赤・共募事務局 TEL:096-247-6215 FAX:096-359-1800
 - 地域福祉部地域福祉推進課
 - 地域福祉推進班
 - ボランティアセンター TEL:096-288-2748 FAX:096-359-1800
 - 生活支援部総合相談センター
 - 権利擁護班 TEL:096-247-7720 FAX:096-327-5366
 - 熊本市成年後見支援センター TEL:096-245-8455 FAX:096-327-5366
 - 相談・貸付班 TEL:096-288-2742 FAX:096-359-1800
 - 生活自立支援センター
 - 中央 TEL:096-8601 熊本市中央区手取本町1-1 TEL:096-328-2795
 - 東 TEL:096-8555 熊本市東区東本町16-30 TEL:096-367-9233
 - 南 TEL:096-4151 熊本市南区富合町清藤405-1 TEL:096-358-5571
- 中央区事務所 TEL:096-0004 熊本市中央区新町2丁目4-27 TEL:096-288-5081 FAX:096-359-1800
- 東 区 事 務 所 TEL:096-2104 熊本市東区秋津3丁目15-1 TEL:096-282-8379 FAX:096-282-8389
- 西 区 事 務 所 TEL:096-5287 熊本市西区小島2丁目7-1 TEL:096-288-5817 FAX:096-288-5917
- 南 区 事 務 所 TEL:096-4202 熊本市南区城南町宮地1050 TEL:0964-28-7030 FAX:0964-28-8750
- 北 区 事 務 所 TEL:096-0136 熊本市北区植木町岩野238-1 TEL:096-272-1141 FAX:096-215-3909
- 養護老人ホーム愉和荘 TEL:096-0115 熊本市北区植木町米塚105 TEL:096-274-6049 FAX:096-274-6522
- 介護保険事業所 TEL:096-0136 熊本市北区植木町岩野238-1 TEL:096-215-3900 FAX:096-215-3909